



青山高原保健休養地キャンプ場。景色がよくて、夏でも夜は涼しく過ごせて、プールもあるので毎年行っています。

中村真衣子 [三重郡朝日町]



志摩市大王町波切桐垣展望台から英虞湾の夕景。9月初旬、夕陽が沈む直前まではオレンジ色ですが、夕陽が沈んだ数分後今度はピンク色に染まり綺麗です。

伊藤博光 [四日市市]



津市美杉町。花火大会における手筒花火の打ち上げ。火の粉を浴びながらも微動だしない持ち手に拍手。

木村守 [津市]



紀北町東長島。「マンボウもびっくり!」。紀北町東長島の片上池で「ふらっこ保育園はなびかい」が行われた。保護者のメッセージ花火などユニークな花火大会だったが、道の駅「マンボウ」に設置されているマンボウもびっくりした表情で楽しんでいた。とても和やかな気持ちのいい花火大会だった。

世古博久 [尾鷲市]



津市で行われた花火大会の風景です。阿漕浦海岸で撮影しました。初めて間近でみましたが、爆音がすごかったです。

山野幸則 [松阪市]



ピンクの紫陽花が見守る中、水田作業に精を出す農家の方が印象的でした。熊野の丸山千枚田(日本の棚田百選)で偶然出会った農村風景です。

堤康博 [四日市市]

# わたしの好きな三重夏

「わたしの好きな三重(夏)」をテーマに写真を募集しました。三重県に精通する4名の審査員が選考した写真をこの紙面で紹介しています。三重県の魅力がいっぱい詰まった写真と、撮影にまつわる投稿者からのコメントもお楽しみください。

※コメントは投稿者が入力していただいたものをそのまま掲載しております。



伊勢神宮内宮の別宮「伊雑宮(いざわのみや)」の御田植神事の光景です。御新田で、早乙女達たちが御田植をしていて並んでいる姿が綺麗です。

山室正輝 [桑名市]



明和町の近鉄斎宮駅近くの紫陽花と近鉄のミジュマルトレインです。残念ながら、近鉄のミジュマルトレインはこの夏で運行が終わってしまい、もう見ることができなくなりました。

長谷川儀和 [鈴鹿市]



志摩市観光農園にて。毎日、暑くてバテ気味でしたが。このヒマワリに元気をもらいました。

高野寿司 [鈴鹿市]



津市の護国神社で開催の万灯みたま祭りを行った時の写真です。約6000灯の提灯飾りが圧巻で、しばし夢の中にいるような気分でした。

小島美千代 [津市]



『とことめの里一志』。猛暑が続いているが、ひまわり畑のひまわりは元気に咲いていました。私は、コマメに水分補給です。

稻生和久 [津市]



三重県立北勢中央公園。夕方、ジョギングしようかと思い、駐車場に着いたら雨が。すぐやんで虹とともに走り出した。

高津成巳 [いなべ市]

これまでの「わたしの好きな三重」の紙面と選考写真は以下のサイトでご覧いただけます。



わたしの好きな三重 トヨペット

検索



## プロフィール

\*担当番組:「Mieライブ」「三重テレビニュースワイズ」  
\*趣味:筋トレ、ランニング(松阪マラソン完走しました!)  
\*特技:大食い、ベンチプレス

花火やお祭り、花など幅広いジャンルの写真があり、どれにしようか決めるのが大変でした。同じ花火の写真でも、色や大きさ、角度など様々な違いがあり、花火大会に行ったような気分になりました。夏を感じられました。

三重テレビ放送 奥村奈央 アナウンサー



## プロフィール

\*担当番組:「マジックアワー」「M-Cab」「みえ森と緑の探検隊!」「ライテクノサービス Presents ハートフルライフ」「イオンモール津南のソウになるラジオ」

趣味:映画・ドラマ鑑賞、カメラ、サウナ  
特技:見得(歌舞伎でよく行われる目)

夏のはじまりや、わくわくを感じる三重の景色から、終わっていくさみしさや情緒をうまく表現された写真が見られ、とても濃い夏を疑似体験した気持ちはなりました。

FM三重 宮原えりか アナウンサー



## プロフィール

\*担当:津市政  
趣味:ドライブ、絵を描く  
特技:ハーブの演奏

花火やヒマワリ、真っ青な空などビビッドで明るい色の写真が集まりました。風景だけでなく、プール遊びやお祭りを楽しむ人たちの笑顔をとらえた写真もすてきでした。

中日新聞社 塩生衣菜 記者



## プロフィール

\*担当部署:ファン作り推進室  
eスポーツ・グラフチーム  
BTF-SPIRIT代表等

趣味:テニス、eスポーツ、紅茶  
特技:IT、数学

豊富な水に育まれた美しい自然と、そこに溢れる子どもたちや家族の笑顔、そして力強い祭りの活気や美しい花火。これが三重という土地の豊かさだ!

三重トヨペット株式会社 取締役副社長 川喜田雅則

広告

企画・制作 中日新聞 メディアビジネス局／アド三愛 協賛 三重トヨペット

新聞広告、中日新聞ウェブ上などで写真の投稿を呼びかけ、応募を受け付けました。審査員が選考した写真を掲載しています。